

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			キャリア教育	
科目名	キャリア教育Ⅲ		担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	703教室
授業の到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、 社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	イベント制作演習①		
2	演習	イベント制作演習②		
3	演習	イベント制作演習③		
4	演習	イベント制作演習④		
5	講義	新人発掘プレゼンテーションガイダンス④		
6	講義	オーディション対策		
7	講義	イベント現場のルール		
8	講義	契約書について		
9	講義	ITリテラシー(メール)		
10	講義	ITリテラシー(時事問題)		
11	講義	目標シート作成②		
12	講義	マナー講座(保険、税金、確定申告)		
13	講義	著作権について		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習				
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3.課題(100%)		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			キャリア教育	
科目名	キャリア教育Ⅳ		担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	703教室
授業の到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、 社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス⑤		
2	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス⑥		
3	演習	定量的目的と定性的目的について		
4	演習	社会人基礎力⑦発信力		
5	講義	社会人基礎力⑧傾聴力		
6	講義	社会人基礎力⑨柔軟性		
7	講義	社会人基礎力⑩状況把握力		
8	講義	社会人基礎力⑪規律力		
9	講義	社会人基礎力⑫ストレスコントロール力		
10	講義	文書作成について、5W1Hについて		
11	講義	イベント制作演習⑤		
12	講義	イベント制作演習⑥		
13	講義	イベント制作演習⑦		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習				
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3. 課題 (100%)		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		グローバルコミュニケーション		
授業名	グローバルコミュニケーションⅢ	担当教員名	ジェフリー バーネット	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	803
授業の到達目標	様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。			
【実務経験】 2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり				
回数	授業形態	内容		
1	講義	オリエンテーション		
2	講義	・トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。		
3	講義	・観光ツアーの予約をする。		
4	講義	・数字, 序数を使い分ける。		
5	講義	・月, 曜日, 時間を表現する。		
6	講義	・郵便局で切手を買う。		
7	講義	・機能表現[希望伝達][提案]を習得し, 会話する。		
8	講義	・トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。		
9	講義	・トラベラーズチェックを両替する。		
10	講義	・とっさに出る言葉を表現する。		
11	講義	・観光案内所で道を尋ねる。		
12	講義	・機能表現[行先質問][所要時間]を習得し, 会話する。		
13	講義	総復習		
14	講義	本試験		
15	講義	試験返却、解説、ポストテスト		
準備学習 時間外学習	授業では配布したプリントを復習しておきましょう。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		グローバルコミュニケーション		
授業名	グローバルコミュニケーションⅣ	担当教員名	ジェフリー バーネット	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	803
授業の到達目標	様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。			
【実務経験】 2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり				
回数	授業形態	内容		
1	講義	オリエンテーション		
2	講義	・さまざまな電話表現を理解する。		
3	講義	・電話による会話をする。		
4	講義	・ファーストフード店で注文をする。		
5	講義	・機能表現[注文][料金質問]を習得し、会話する。		
6	講義	・トピック関連のリスニング問題を聞き理解する。		
7	講義	・レストランの予約をする。		
8	講義	・英文の手紙を書く。		
9	講義	・英文のEメールを書く。		
10	講義	・買い物をする。		
11	講義	総復習		
12	講義	総復習		
13	講義	総復習		
14	講義	本試験		
15	講義	試験返却、解説、ポストテスト		
準備学習 時間外学習	授業では配布したプリントを復習しておきましょう。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ミュージックセオリー	
授業名	LM3	担当教員名	小林 延江
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限	必修	教室	2年次前期
授業の到達目標	コードについての理解を深めると共に、曲の中で実際どのようなコード進行が使われているか等、曲をアナライズしていく力とそれを実践で役立てていける力を身につけていくことを目標とする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書、補助プリント、楽譜と音源を使い、実際に曲の中でどのように使われているのか等も紹介しながら講義し、ワークブックを用い繰り返し問題を解き練習しながら使い方を習得していく。		
【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。			
回数	授業形態	内容	
1	講義	メジャーダイアトニックコード(ダイアトニックコードについて・コードネーム、ディグリーネームを書けるようにする)	
2	講義	メジャーダイアトニックコードの各機能の意味を知る、主要和音・代理和音について	
3	講義	ケーデンス(終止形、ドミナントモーション、トゥーフাইブ、セカンダリードミナント、偽終止について)	
4	講義	転回形の表記方法、ト音記号を用いた簡単なヴォイスング	
5	講義	ケーデンス(メジャー系)を実際に5線に書いてみる(保留をしながら)	
6	講義	楽譜と音源を用い、前半の総復習	
7	講義	確認テスト	
8	講義	マイナーダイアトニックコードの仕組み(ナチュラルマイナーのみ)	
9	講義	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーのダイアトニック	
10	講義	マイナーダイアトニックコードが持つ機能について知る	
11	講義	マイナーキーにおけるケーデンスについて知る、ヴォイスング(マイナー系)	
12	講義	楽譜と音源を用い、後半の総復習	
13	講義	期末予備テスト	
14	講義	期末テスト	
15	講義	テスト返却、復習	
準備学習 時間外学習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験100%	
教材	教科書	ゼロから始める音楽理論、ワークブック	
	参考書		
学生への メッセージ	LM1・2で身につけた基礎知識・読譜力を活かしながら、更に実践に繋がるアレンジ力も身につけていけるようレベルアップ目指して頑張りましょう。		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ミュージックセオリー	
授業名	LM4	担当教員名	小林 延江
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	LM3で身につけたコード進行のパターンを発展させたり、コードに対して使えるスケールを考えアレンジを加えていける力等、読譜力+作曲する際にも役立てていける実践力を身につけていくことを目標とする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書、補助プリント、楽譜と音源を使い、実際に曲の中でどのように使われているのか定番コードパターンや手法等も紹介しながら講義し、ワークブックを用い繰り返し問題を解き練習しながら使い方を習得していく。		
【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。			
回数	授業形態	内容	
1	講義	ノンコードトーン(経過音、刺繍音、倚音、掛留音、先取音、逸音)	
2	講義	テンションの種類・コード別使用可能テンション	
3	講義	テンションリゾルブ(テンションの解決法・Omitの意味)	
4	講義	アベイラブルノートスケール(コードトーン・テンション・アポイドノートについて)スケールの使い方について	
5	講義	マイナーのアベイラブルの紹介・ドミナントスケール、その他のスケール	
6	講義	楽譜と音源を用い、前半の総復習	
7	講義	確認テスト	
8	講義	メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る	
9	講義	クリシェ、パッシングの手法を学び、コードパターンを発展させる、定番コードパターン	
10	講義	転調のパターンを知り、実践する	
11	講義	楽譜を用い、総復習を行う	
12	講義	楽譜と音源を用い、後半の総復習を行う	
13	講義	期末予備テスト	
14	講義	期末テスト	
15	講義	テスト返却、復習	
準備学習 時間外学習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験100%	
教材	教科書	ゼロから始める音楽理論、ワークブック	
	参考書		
学生への メッセージ	LM1・2で身につけた基礎知識・読譜力を活かしながら、更に実践に繋がるアレンジ力も身につけていけるようレベルアップ目指して頑張りましょう。		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		イヤートレーニング	
授業名	ET3	担当教員名	小林 延江
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限	必修	教室	2年次前期
授業の到達目標			
《リズム》4/4拍子,3/4拍子(タイ付きリズム)ではC,G,Fの音で4分音符,8分音符,16分音符,4分休符,8分休符,16分休符,付点4分音符,付点8分音符,3連符の混ざったリズムを,6/8拍子では8分音符,16分音符,8分休符,付点4分音符,付点8分音符の混ざったリズムを聴き取れるように。			
《メロディー》Key:C, Key:F, Key:Cm, Key:Am《2声メロディー》Key:Cのメロディーを正確に聴き取り楽譜に書き表せるように。 《2声ハーモニー》1,3,4,5,6,8度音程のハーモニーを正確に聴き取れるように。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するキーボードで弾く音を聴き取り、リズムを感じ、それを表現するトレーニングを行っていく授業です。音感・リズム感・感性を鍛えていくと共に、音を集中して聴く力(集中力)、聴こえてきた音を正確に楽譜に表す力を身につけていきます。ET1・2で学び身につけた音感を実践に繋げていけるよう所要所に復習を入れ反復練習を行いながら授業を進めていきます。		
【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。			
回数	授業形態	内容	
1	講義	1年次復習/聴き取り…4/4,3/4拍子/リズム打ち…6/8拍子/復習(1オクターブ) Key:C/2声メロディー	
2	講義	復習/リズム打ち…6/8拍子/復習(1オクターブ+低いB)/key:Cmでの聴き取り/2声ハーモニーの導入・3度音程のハーモニー練習/コードKey:C I-IV-Vの聴き取り(Hey Jude)	
3	講義	4/4拍子,3/4拍子…復習(タイ付き)/6/8拍子…既習リズムで書き取り/復習 Key:Cmでの聴き取り/2声ハーモニー・3度の音程/コードKey:C I-IV-Vの聴き取り(贈る言葉)	
4	講義	4/4拍子,3/4拍子,6/8拍子/復習(1オクターブ+低いA)/Key:Amでの聴き取り/2声メロディー(ベースラインの書き取り)/2声ハーモニー/トライトーンのハーモニー練習/コードKey:C I-IV-Vの聴き取り	
5	講義	4/4拍子,3/4拍子…復習(タイ付き)/6/8拍子/Key:Amでの聴き取り/2声メロディー(ベースラインの書き取り)/2声ハーモニー復習/コードKey:C I-IV-Vの聴き取り	
6	講義	リズム・メロディー復習/2声メロディー(2声の書き取り) Key:C/2声ハーモニー 復習/コードKey:C I-IV-Vの聴き取り	
7	講義	中間確認テスト	
8	講義	テスト返却/リズム4/4拍子,3/4拍子,6/8拍子復習/メロディーKey:Fmajorの導入/2声メロディー・2声ハーモニー復習/コードKey:C 復習とIV(II)-V-Iの聴き分け	
9	講義	タイ付きリズム導入/メロディーKey:Fmajor/2声メロディー復習/6度音程のハーモニー練習/コード IV(II)-V-I	
10	講義	タイ付きリズム/メロディー復習 Key:Fmajor/2声メロディー・2声ハーモニー復習	
11	講義	リズム4/4拍子,3/4拍子の付点8分音符+8分音符リズムの導入/メロディーKey:Fmajor/2声メロディー復習/オクターブとユニゾンのハーモニー練習/IV(II)-V-I	
12	講義	総復習	
13	講義	テスト対策週(まとめ)	
14	講義	テスト	
15	講義	テスト返却・復習	
準備学習 時間外学習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価	
教材	教科書	イヤートレーニング	
	参考書		
学生へのメッセージ	週1回の授業を大切に!こつこつと積み重ねていくことで少しずつ耳は鍛えられていきます。ET1・2で学び身につけた音感+α実践で役立てていける耳コピ力を身につけていけるよう、レベルアップ目指して頑張りましょう。		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		イヤートレーニング		
授業名	ET4		担当教員名	小林 延江
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次後期
曜日・時限		必修	教室	
授業の到達目標 《リズム》4/4拍子、3/4拍子(タイ付きリズム)ではC、G、Fの音で4分音符、8分音符、16分音符、4分休符、8分休符、16分休符、付点8分休符、付点4分音符、付点8分音符、3連符の混ざったリズムを、6/8拍子では4分音符、8分音符、16分音符、8分休符、付点4分音符、付点8分音符の混ざったリズムを聴き取れるように。 《メロディー》Key:C、Key:F、Key:Cm、Key:Am、Key:G《2声メロディー》Key:C《6/8拍子メロディー》Key:Cのメロディーを正確に聴き取り楽譜に書き表せるように。				
授業の内容 ※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するキーボードで弾く音を聴き取り、リズムを感じ、それを表現するトレーニングを行っていく授業です。音感・リズム感・感性を鍛えていくと共に、音を集中して聴く力(集中力)、聴こえてきた音を正確に楽譜に表す力を身につけていきます。ET1・2で学び身につけた音感を実践に繋げていけるよう所要所に復習を入れ反復練習を行いながら授業を進めていきます。				
【実務経験】 2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。				
回数	授業形態	内容		
1	講義	リズム4/4.3/4.6/8拍子 復習/Key:Gの聴き取り導入(F# ⁺ ~D ⁺)/6/8拍子メロディー導入 視唱のみ/2声メロディー3連符導入/2声ハーモニー 復習 2度音程導入		
2	講義	リズム4/4.3/4拍子シンコペーションリズムの導入/Key:Gmajorの聴き取り(F# ⁺ ~D ⁺)★跳躍進行練習/6/8拍子メロディー聴き取りKey:C/2声メロディー・2声ハーモニー 復習/コード IV(II)-V-Iの		
3	講義	リズム4/4.3/4拍子 復習/Key:Gの聴き取り(F# ⁺ ~D ⁺)/6/8拍子メロディー聴き取りKey:C/2声メロディー/2声ハーモニー 復習/コード IV(II)-V-Iの聞き分け		
4	講義	4/4.3/4拍子 16分音符+8分音符リズムの導入/Key:Gの聴き取り(F# ⁺ ~D ⁺)/6/8拍子メロディー聴き取り 復習/2声メロディー/2声ハーモニー 復習/コード VIの和音も含む聞き分け		
5	講義	リズム4/4.3/4拍子 復習/Key:Gの聴き取り(F# ⁺ ~E ⁺)…音域広げる/6/8拍子メロディー聴き取り/2声メロディー・2声ハーモニー 復習/コード IV(II)-V-I、VIの聞き分け		
6	講義	中間確認テスト前復習週		
7	講義	中間確認テスト		
8	講義	リズム4/4.3/4拍子8分休符+16分音符リズムの導入/Key:C、G、Amの聴き取り/6/8拍子メロディー聴き取り/2声メロディー 復習/2声ハーモニー 跳躍進行を含むハーモニー/コード II-V-Iの間		
9	講義	2/4.3/4拍子…タイ付きリズム/Key:C・Cmの聴き取り/6/8拍子メロディー聴き取り/2声メロディー・2声ハーモニー 復習/コード II-V-Iの聞き分け		
10	講義	4/4.3/4拍子…Key:C・F・DのI、IV、Vの音での聴き取り(タイなし・タイ付き)/Key:F・Key:Amの聴き取り/6/8拍子メロディー聴き取り/2声メロディー・2声ハーモニー 復習/コード V-Iの聞き分け		
11	講義	4/4.3/4拍子…Key:C・F・DのI、IV、Vの音での聴き取り(タイ付き)/Key:G・Fの聴き取り/6/8拍子メロディー聴き取り/2声メロディー・2声ハーモニー 復習/コード IV(II)-V-I、VIの聞き分け		
12	講義	リズム4/4拍子 復習/Key:G・Amの聴き取り/6/8拍子メロディー聴き取り 復習/2声メロディー・2声ハーモニー 復習/コード I、II、IV、V、VIの聞き分け		
13	講義	期末テスト前復習週		
14	講義	期末確認テスト		
15	講義	テスト返却・復習		
準備学習 時間外学習				
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価	
教材	教科書	イヤートレーニング		
	参考書			
学生へのメッセージ		週1回の授業を大切に！こつこつと積み重ねていくことで少しずつ耳は鍛えられていきます。ET1・2で学び身につけた音感+α実践で役立てていける耳コピ力を身につけていけるよう、レベルアップ目指して頑張りましょう。		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		音楽・映像テクノロジー		
科目名	音楽・映像テクノロジー I	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	601教室
授業の到達目標	映像・音源の編集技術を学び、自身のプロモーションツールとしての使用、 プロダクトでの使用を目的に音源作品、映像作品が制作できるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 音源の編集ソフト、映像編集ソフトの使用方法を基礎から学びます。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	講義	ITリテラシー		
2	講義	SNS使用方法について		
3	講義	音源編集ソフトの基礎使用方法①		
4	講義	音源編集ソフトの基礎使用方法②		
5	講義	音源編集ソフトの基礎使用方法③		
6	講義	音源編集ソフトの基礎使用方法④		
7	講義	映像編集ソフトの基礎使用方法①		
8	講義	映像編集ソフトの基礎使用方法②		
9	講義	映像編集ソフトの基礎使用方法③		
10	講義	映像編集ソフトの基礎使用方法④		
11	講義	作品制作 音源		
12	講義	作品制作 映像		
13	講義	作品制作 映像と音源		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1 実技試験50% 3、課題50%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		音楽・映像テクノロジー		
科目名	音楽・映像テクノロジーⅡ	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		必修	教室	601教室
授業の到達目標	映像・音源の編集技術を学び、自身のプロモーションツールとしての使用、 プロダクトでの使用を目的に音源作品、映像作品が制作できるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 音源の編集ソフト、映像編集ソフトの使用方法を基礎から学びます。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	講義	プロフィール制作①		
2	講義	プロフィール制作②		
3	講義	プロフィール制作③		
4	講義	プロフィール制作④		
5	講義	映像作品制作①		
6	講義	映像作品制作②		
7	講義	映像作品制作③		
8	講義	映像作品制作④		
9	講義	映像作品制作⑤		
10	講義	映像作品制作⑥		
11	講義	映像作品制作⑦		
12	講義	映像作品制作⑧		
13	講義	映像作品制作⑨		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1 実技試験50% 3、課題50%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		パフォーミングアーツヒストリー		
科目名	パフォーミングアーツヒストリー I	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	805・6教室
授業の到達目標	パフォーミングアーツの歴史を学び、正しい理解のもと表現者として あるいはディレクター・マネージャーとしてエンターテインメント業界で働く為に必要な知識を 身につける。			
授業の内容	パフォーミングアーツの歴史として舞台舞踊史を学ぶ。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	講義	歴史を学ぶということ～イントロダクション～		
2	講義	日本の演劇の歴史①		
3	講義	日本の演劇の歴史②		
4	講義	日本の演劇の歴史③		
5	講義	日本の演劇の歴史④		
6	講義	日本の演劇の歴史⑤		
7	講義	日本の演劇の歴史⑥		
8	講義	世界の演劇の歴史①		
9	講義	世界の演劇の歴史②		
10	講義	世界の演劇の歴史③		
11	講義	世界の演劇の歴史④		
12	講義	世界の演劇の歴史⑤		
13	講義	世界の演劇の歴史⑥		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	2. 筆記試験50% 3. 課題50%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		パフォーミングアーツ歴史		
科目名	パフォーミングアーツ歴史Ⅱ	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		必修	教室	805・6教室
授業の到達目標	パフォーミングアーツの歴史を学び、正しい理解のもと表現者として あるいはディレクター・マネージャーとしてエンターテインメント業界で働く為に必要な知識を 身につける。			
授業の内容	パフォーミングアーツの歴史として舞台舞踊史を学ぶ。			
【実務経験】	ナレーション、ゲームキャラクターの収録、アニメのアフレコ、音楽イベントの司会など			
回数	授業形態	内容		
1	講義	ダンスの始まり		
2	講義	ワールドダンス		
3	講義	バレエの歴史		
4	講義	ジャズダンスの歴史①		
5	講義	ジャズダンスの歴史②		
6	講義	モダンダンスの歴史①		
7	講義	モダンダンスの歴史②		
8	講義	ストリートダンスの歴史①		
9	講義	ストリートダンスの歴史②		
10	講義	ストリートダンスの歴史③		
11	講義	ミュージカルの歴史		
12	講義	コンテンポラリーダンスの歴史		
13	講義	これからのダンスについて		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	2. 筆記試験50% 3. 課題50%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	HIPHOPⅢ		担当教員名	(HASSY)橋田 慧一
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	基礎の重要性を理解し、振付などでの応用に活かすことができる			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する HIPHOPの軸となるリズムを中心とした基礎、また技術のみならず、メンタル面においてのトレーニングで心技ともに磨く			
【実務経験】 GATSBY STYLING DANCE CONTEST日本2位、KPOPグループ”ZE:A”バックダンサー				
回数	授業形態	内容		
1	演習	オリエンテーション		
2	演習	HIPHOP基礎・振付1		
3	演習	HIPHOP基礎・振付1のつづき		
4	演習	HIPHOP基礎・振付1のつづき		
5	演習	HIPHOP基礎・振付2		
6	演習	HIPHOP基礎・振付2のつづき		
7	演習	HIPHOP基礎・振付2のつづき		
8	演習	HIPHOP基礎・振付3		
9	演習	HIPHOP基礎・振付3のつづき		
10	演習	HIPHOP基礎・振付3のつづき		
11	演習	試験に向けての復習		
12	演習	試験内容の練習		
13	演習	試験		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	振りの確認、復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	心身ともに強くなるために自分と向き合しましょう			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	HIPHOPⅣ		担当教員名	(HASSY)橋田 慧一
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	基礎の重要性を理解し、振付などでの応用に活かすことができる			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する HIPHOPの軸となるリズムを中心とした基礎、また技術のみならず、メンタル面においてのトレーニングで心技ともに磨く			
【実務経験】	GATSBY STYLING DANCE CONTEST日本2位、KPOPグループ”ZE:A”バックダンサー			
回数	授業形態	内容		
1	演習	オリエンテーション		
2	演習	HIPHOP基礎・振付1		
3	演習	HIPHOP基礎・振付1のつづき		
4	演習	HIPHOP基礎・振付1のつづき		
5	演習	HIPHOP基礎・振付2		
6	演習	HIPHOP基礎・振付2のつづき		
7	演習	HIPHOP基礎・振付2のつづき		
8	演習	HIPHOP基礎・振付3		
9	演習	HIPHOP基礎・振付3のつづき		
10	演習	HIPHOP基礎・振付3のつづき		
11	演習	試験に向けての復習		
12	演習	試験内容の練習		
13	演習	試験		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	振りの確認、復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	心身ともに強くなるために自分と向き合しましょう			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	JAZZⅢ	担当教員名	吉川 優美子
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標			
学生を持つ身体能力を高め、ダンステクニックの向上、表現力を身につける。			
授業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸センター…身体の内側からのエネルギーをコントロールする ・バーレッスン…バレエテクニックと共に身体を緩めるリソーステクニックを学ぶ ・コンビネーション…振付の理解力・表現力・クリエイティブ力を身につける 			
【実務経験】			
Jennifer Muller/The Worksに12年間在籍、世界各国公演ワークショップを行う			
回数	授業形態	内容	
1	演習	呼吸センター、バーレッスン、コンビネーション、クロスフロアー	
2	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
3	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
4	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
5	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
6	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
7	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
8	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
9	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
10	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
11	演習	テスト	
12	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
13	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価: 100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	チャレンジする気持ちと自分を向き合う強さを大切に一緒に頑張ろう		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	JAZZIV	担当教員名	吉川 優美子
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標			
学生を持つ身体能力を高め、ダンステクニックの向上、表現力を身につける。			
授業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸センター・・・身体の内側からのエネルギーをコントロールする ・バーレッスン・・・バレエテクニックと共に身体を緩めるリソーステクニックを学ぶ ・コンビネーション・・・振付の理解力・表現力・クリエイティブ力を身につける 			
【実務経験】			
Jennifer Muller/The Worksに12年間在籍、世界各国公演ワークショップを行う			
回数	授業形態	内容	
1	演習	呼吸センター、バーレッスン、コンビネーション、クロスフロアー	
2	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
3	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
4	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
5	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
6	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
7	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
8	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
9	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
10	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
11	演習	テスト	
12	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
13	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技評価: 100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	チャレンジする気持ちと自分を向き合う強さを大切に一緒に頑張ろう		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	バレエⅢ		担当教員名	角野由佳
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	バレエの基礎的なことがわかった上で、バーレッスンでの体幹作り、他のダンスへの活かし方、実践に強くなる精神面、パフォーマンスの向上を強化			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するバレエの基本姿勢で、ダンスに必要な体幹、他のダンスにもどうかすかを理解させながら、バーレッスンからセンターレッスンへ進める。			
【実務経験】 OSMバレエ講師…1995年～2005年、DAバレエ講師…2008年～2019年現在に至る 1999年尼崎市武庫之荘スミノバレエ開校				
回数	授業形態	内容		
1	演習	各自、自己紹介、バーレッスン、センターレッスン途中まで		
2	演習	バーレッスン、センターレッスン		
3	演習	バーレッスン、センターレッスン		
4	演習	バーレッスン、センターレッスン		
5	演習	バーレッスン、センターレッスン		
6	演習	質問、疑問受付、その後バーレッスン、センターレッスン		
7	演習	バーレッスン、センターレッスン		
8	演習	バーレッスン、センターレッスン		
9	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
10	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
11	演習	試験の振付		
12	演習	試験		
13	演習	後期に向けての課題確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習時間外学習	ストレッチ、コアトレーニング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生へのメッセージ	ほぼ初バレエの生徒が多いため、好きでも嫌いでも、バレエはダンスに必要なことを理解してもらい、将来に繋げる為、努力してほしいと思います。楽しく厳しくレッスン進めたいと思います。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	バレエⅣ		担当教員名	角野由佳
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	バレエの基礎的なことがわかった上で、バーレッスンでの体幹作り、他のダンスへの活かし方、実践に強くなる精神面、パフォーマンスの向上を強化			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する バレエの基本姿勢で、ダンスに必要な体幹、他のダンスにもどうかすかを理解させながら、バーレッスンからセンターレッスンへ進める。			
【実務経験】 OSMバレエ講師…1995年～2005年、DAバレエ講師…2008年～2019年現在に至る 1999年尼崎市武庫之荘スミノバレエ開校				
回数	授業形態	内容		
1	演習	各自、自己紹介、バーレッスン、センターレッスン途中まで		
2	演習	バーレッスン、センターレッスン		
3	演習	バーレッスン、センターレッスン		
4	演習	バーレッスン、センターレッスン		
5	演習	バーレッスン、センターレッスン		
6	演習	質問、疑問受付、その後バーレッスン、センターレッスン		
7	演習	バーレッスン、センターレッスン		
8	演習	バーレッスン、センターレッスン		
9	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
10	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
11	演習	試験の振付		
12	演習	試験		
13	演習	後期に向けての課題確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習時間外学習	ストレッチ、コアトレーニング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生へのメッセージ	ほぼ初バレエの生徒が多いため、好きでも嫌いでも、バレエはダンスに必要なことを理解してもらい、将来に繋げる為、努力してほしいと思います。楽しく厳しくレッスン進めたいと思います。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	K-POP III		担当教員名	チェ・リョンヒ
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	K-POPのダンススタイルを習得する。1人1人のスキルアップ。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 筋トレ、ウォーキングから始め、K-POPのダンススタイルを通じてそれぞれ個性を活かしてみせる練習。			
【実務経験】韓国アーティストのバックダンサー・アイドル育成、イ・ヒョリ、VIXX、ソンシギョン等コンサートにも出演。Urizipスタジオ・gpスタジオでK-POPダンスを担当。 2018年にTaeワンマンライブに出演、他KARASUNYONファンミーティング出演				
日程	授業形態	内容		
1	演習	アップ、筋トレ、基礎		
2	演習	アップ、筋トレ、基礎		
3	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、振り		
4	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、新しい振り		
5	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、振り		
6	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
7	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
8	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
9	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
10	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
11	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
12	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
13	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	筋トレ、アイソレーション、振り確認、見せ方研究！！			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	ファイティン！！			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	K-POP IV		担当教員名	チェ・リョンヒ
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	K-POPのダンススタイルを習得する。1人1人のスキルアップ。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 筋トレ、ウォーキングから始め、K-POPのダンススタイルを通じてそれぞれ個性を活かしてみせる練習。			
【実務経験】韓国アーティストのバックダンサー・アイドル育成、イ・ヒョリ、VIXX、ソンシギョン等コンサートにも出演。Urizipスタジオ・gpスタジオでK-POPダンスを担当。 2018年にTaeワンマンライブに出演、他KARASUNYONファンミーティング出演				
日程	授業形態	内容		
1	演習	アップ、筋トレ、基礎		
2	演習	アップ、筋トレ、基礎		
3	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、振り		
4	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、新しい振り		
5	演習	アップ、筋トレ、ウォーキング、振り		
6	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
7	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
8	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
9	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
10	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
11	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
12	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
13	演習	筋トレ→ウォーキング→振り渡し		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	筋トレ、アイソレーション、振り確認、見せ方研究！！			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	ファイティン！！			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	POPPINⅢ		担当教員名	NOBOU(北之防 和志)
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	POPの応用を使って踊れるようになる事。個性を意識したパフォーマンスが出来る。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する動きとリズム、音楽を意識しながら踊る			
【実務経験】	指導歴20年			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ベーシックルーティーン		
2	演習	ベーシックルーティーン		
3	演習	ベーシックルーティーン		
4	演習	ベーシックルーティーン		
5	演習	ベーシックルーティーン		
6	演習	ベーシックルーティーン		
7	演習	アドバンスルーティーン		
8	演習	アドバンスルーティーン		
9	演習	アドバンスルーティーン		
10	演習	アドバンスルーティーン		
11	演習	アドバンスルーティーン		
12	演習	アドバンスルーティーン		
13	演習	テスト		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	アイソレ、リズムトレーニング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験60%、課題40%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	練習を積み重ねて基本的な質やベーシックを向上させていきましょう。それらを使って自由に楽しく踊れるダンサーになって下さい。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	POPPINIV		担当教員名	NOBOU(北之防 和志)
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	POPの応用を使って踊れるようになる事。個性を意識したパフォーマンスが出来る。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する動きとリズム、音楽を意識しながら踊る			
【実務経験】	指導歴20年			
回数	授業形態	内容		
1	演習	アドバンスルーティーン		
2	演習	アドバンスルーティーン		
3	演習	アドバンスルーティーン		
4	演習	アドバンスルーティーン		
5	演習	アドバンスルーティーン		
6	演習	アドバンスルーティーン		
7	演習	アドバンスルーティーン		
8	演習	アドバンスルーティーン		
9	演習	アドバンスルーティーン		
10	演習	アドバンスルーティーン		
11	演習	アドバンスルーティーン		
12	演習	アドバンスルーティーン		
13	演習	テスト		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	アイソレ、リズムトレーニング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験60%、課題40%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	練習を積み重ねて基本的な質やベーシックを向上させていきましょう。それらを使って自由に楽しく踊れるダンサーになって下さい。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	STREETⅢ		担当教員名	TOM(富田 麻里)
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	基本STEPからリズム崩しの応用まで 16ビートで取る細かいSTEPも踊れるようになる			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 基本STEPの精度を高め、応用力に活かせるように動きの細かいところまで指導する。加え、体全体のバランス、リズムの乗りのバランスも指導する。			
【実務経験】	DA、大学、ダンススクールでの5年以上の指導歴あり			
回数	授業形態	内容		
1	演習	リズム取り、基本STEP～16ビートSTEP		
2	演習	足のつけ根を使った全身で踊るSTEP紹介井		
3	演習	復習、精度を高める		
4	演習	ルーティン⑤		
5	演習	ツイスト・ターンを入れた動きを紹介		
6	演習	STEPツイストターンを組み合わせ練習		
7	演習	ルーティン⑥		
8	演習	クイック・足首を使ったSTEP紹介		
9	演習	BODYコントロールを加える		
10	演習	全ての動きをつなげ練習		
11	演習	ルーティン練習		
12	演習	ルーティン完成させる		
13	演習	試験		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	前回の復習をしておく。楽譜に目を通す。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1.実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			ダンスコミュニケーション	
授業名	STREETIV		担当教員名	TOM(富田 麻里)
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	基本STEPからリズム崩しの応用まで 16ビートで取る細かいSTEPも踊れるようになる			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 基本STEPの精度を高め、応用力に活かせるように動きの細かいところまで指導する。加え、体全体のバランス、リズムの乗りのバランスも指導する。			
【実務経験】	DA、大学、ダンススクールでの5年以上の指導歴あり			
回数	授業形態	内容		
1	演習	リズム取り、基本STEP～16ビートSTEP		
2	演習	足のつけ根を使った全身で踊るSTEP紹介		
3	演習	復習、精度を高める		
4	演習	ルーティン⑦		
5	演習	ツイスト・ターンを入れた動きを紹介		
6	演習	STEPツイストターンを組み合わせ練習		
7	演習	ルーティン⑧		
8	演習	クイック・足首を使ったSTEP紹介		
9	演習	BODYコントロールを加える		
10	演習	全ての動きをつなげ練習		
11	演習	ルーティン練習		
12	演習	ルーティン完成させる		
13	演習	試験		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	前回の復習をしておく。楽譜に目を通す。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1.実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	テーマパークベーシックⅢ	担当教員名	八幡谷 有希	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	(1)基礎の大切さの理解(2)身体で表現する事へのレッスンの受け方(3)プロになる為に必要な事への理解			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 自分の個性を見つけ表現力と技術を身に付ける			
【実務経験】	某大手テーマパークにてダンサークラス。 ダンサー、キャラクターのオーディション振り付け			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ダンスに必要な基礎の確認を重点的に		
2	演習	エクササイズので理解して取り組んでるのかの確認を重点的に		
3	演習	クロスフロアの基礎を重点的に(ジャンプ/ターン/バランス)		
4	演習	クロスフロアの応用を重点的に(ジャンプ/ターン/バランス)		
5	演習	センター振り付け(早めに覚えれる様に集中力を身に付ける)		
6	演習	振り付けの確認と振り付けでの注意点の理解		
7	演習	表現力と魅せていく踊りを自分で作っていく		
8	演習	自分の個性を理解しダンスにつなげていく		
9	演習	少人数で踊る事への慣れや楽しみを覚える		
10	演習	お互いを高め合い人の長所を見て自分に吸収していく		
11	演習	前期への復習と後期への目標を明確にする		
12	演習	少人数で振り付けを踊れる様に慣れる		
13	演習	前期での復習と後期に向けての目標を立てる		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	常に見られている事を意識して生活し、美の意識も持ちファッションや化粧品も研究し、自分が綺麗に見える方法を研究してほしい。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	個性を生かし常に、夢の為に今、何が出来るかを考えながら、ダンスのスキルに満足する事なく夢に向かって頑張ってほしい			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	テーマパークベーシックⅣ	担当教員名	八幡谷 有希	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	(1)基礎の大切さの理解(2)身体で表現する事へのレッスンの受け方(3)プロになる為に必要な事への理解			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 自分の個性を見つけ表現力と技術を身に付ける			
【実務経験】	某大手テーマパークにてダンサークラス。 ダンサー、キャラクターのオーディション振り付け			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ダンスに必要な基礎の確認を重点的に		
2	演習	エクササイズので理解して取り組んでるのかの確認を重点的に		
3	演習	クロスフロアの基礎を重点的に(ジャンプ/ターン/バランス)		
4	演習	クロスフロアの応用を重点的に(ジャンプ/ターン/バランス)		
5	演習	センター振り付け(早めに覚えれる様に集中力を身に付ける)		
6	演習	振り付けの確認と振り付けでの注意点の理解		
7	演習	表現力と魅せていく踊りを自分で作っていく		
8	演習	自分の個性を理解しダンスにつなげていく		
9	演習	少人数で踊る事への慣れや楽しみを覚える		
10	演習	お互いを高め合い人の長所を見て自分に吸収していく		
11	演習	前期への復習と後期への目標を明確にする		
12	演習	少人数で振り付けを踊れる様に慣れる		
13	演習	前期での復習と後期に向けての目標を立てる		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	常に見られている事を意識して生活し、美の意識も持ちファッションや化粧品も研究し、自分が綺麗に見える方法を研究してほしい。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	個性を生かし常に、夢の為に今、何が出来るかを考えながら、ダンスのスキルに満足する事なく夢に向かって頑張ってほしい			

スーパードダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	インプロビゼーションⅢ	担当教員名	広瀬 謙
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>一年間やってきたことを踏まえ、レベルアップを目指し、より実践にむけたプログラムで、表現者としてのスキルをあげていきたい。最終目標としては、スキルアップした各々の力を試せるような発表の場を設け、挑んでもらう。</p>		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>一年間やってきたことをさらにグレードアップし、実践で役立つように、実際に行動することによって、そこで得られるものをはっきり肌で感じとって、学んでいってもらう。</p>		
【実務経験】			
1995年より芸能活動を始め、映画・テレビ・舞台で俳優として活動を続け、2011年より、演技やセミナーなど講師業もスタートさせる。現在は、劇団を立ち上げ、毎年公演。出演以外に脚本、演出も手掛ける。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	インプロビゼーション1 (一年間の復習を兼ねて)	
2	演習	インプロビゼーション2 (レベルアップ思考 - 楽しむ -)	
3	演習	インプロビゼーション3 (レベルアップ思考 - 苦しむ -) ※ステイタス	
4	演習	インプロビゼーション4 (レベルアップ思考 - 創作する -) ※プラットフォーム	
5	演習	動機と目的意識 (演じるということ)	
6	演習	行動 - アクティビティ - (実際に「する」ということを体感させる)	
7	演習	感情開放 (テキスト台本)	
8	演習	テキスト台本 (舞台づくり)	
9	演習	発表会 (インプロ芝居) に向けて 1 ※構成台本説明	
10	演習	発表会 (インプロ芝居) に向けて 2 ※エチュード	
11	演習	発表会 (インプロ芝居) に向けて 3 ※エチュード	
12	演習	発表会 (インプロ芝居) ※紅白戦	
13	演習	インプロビゼーション5 (前期の集大成)	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	何事にも関心を持つよう心掛けてください。また、本を読む習慣をつけてください。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1) 実技試験 100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	まずはやる。やってみて感性でいろいろと成長していってもらえたらと思います。とにかく楽しみましょう！		

スーパードダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	インプロビゼーションⅣ	担当教員名	広瀬謙
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	授業の到達目標		
授業の内容	授業の内容		
回数	授業形態	内容	
1	演習	インプロビゼーション1 (前期の復習を兼ねて)	
2	演習	インプロビゼーション2 (レベルアップ思考 - 楽しむ -)	
3	演習	インプロビゼーション3 (レベルアップ思考 - 苦しむ -) ※ステイタス	
4	演習	インプロビゼーション4 (レベルアップ思考 - 創作する -) ※プラットフォーム	
5	演習	俯瞰目線 (演じるということ)	
6	演習	俯瞰目線 (演じるということ)	
7	演習	エチュード、シーンスタディ1	
8	演習	エチュード、シーンスタディ2	
9	演習	テキスト台本(舞台づくり)	
10	演習	キャラクターを演じる(役柄思考)	
11	演習	テキスト台本(演出をいれて、対応力をつけてもらいます。)	
12	演習	テキスト台本(演出をいれて、対応力をつけてもらいます。)	
13	演習	インプロビゼーション5(一年の集大成)	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	自分にとって感情が動いたことを集めてください。(喜怒哀楽自由)		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1) 実技試験 100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	まずはやる。やってみて感性でいろいろと成長していただけたらと思います。 とにかく楽しみましょう!		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	ナレーションⅢ	担当教員名	森本 光
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	原稿の内容に応じた豊かな表現が出来るようになる。 アクセント、母音の夢声化、鼻濁音など、基本をふまえた上で、どんな内容、ジャンルの原稿でもオンエアできるレベルで読めるようになる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する これまで、実際に使用し、放送された原稿を主に教材とする。ドキュメンタリー、CM、スポーツVTRなど幅広い分野の原稿を用意。声の高低、強弱など、ナレーション基本を意識しながら、学生一人一人が個性を活かせるような表現となるよう指導する。		
【実務経験】元瀬戸内海放送アナウンサー。株式会社 昭和プロダクション所属。 ラジオ関西、奈良テレビなどでパーソナリティー、ニュースキャスターをつとめる。 セリエA開幕試合や夏の高校野球兵庫大会など、サッカー、野球、ラグビーの実況の経験も豊富			
回数	授業形態	内容	
1	演習	表現技術 CMナレーション 基本の確認	
2	演習	声量の調整 積極的な表現を身につける	
3	演習	声のトーンの変え方 台本に書かれている言葉を自分の言葉として表現する	
4	演習	声の響きを磨く 言葉の強調の方法を知る	
5	演習	ベースとなる声を磨く CMナレーション 自然体で出せる声を磨く	
6	演習	疲れない声の出し方 気持ちを声に乗せる方法を学ぶ	
7	演習	声の幅を広げる 原稿の内容に応じたトーンを学ぶ	
8	演習	気持ちと声のコントロール 声の高低の使い分けを身につける	
9	演習	原稿を自分のものにする方法を身につける 物語・エッセイ	
10	演習	技術に個性をプラスする方法を学ぶ	
11	演習	本番でのスイッチの入れ方を学ぶ	
12	演習	前期で学んだことの再確認	
13	演習	テスト ナレーション原稿	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	前回の講義で渡した原稿を繰り返し読み込む		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験 60% 筆記試験 20% 課題 20%	
教材	教科書	講師 森本が毎回、用意するナレーション原稿	
	参考書	日本語アクセント辞典	
学生への メッセージ	基本を徹底しながら、自分らしい表現を身につけましょう。 努力は嘘をつきません。講義で渡した原稿を日々、声に出して練習してください。		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	ナレーションⅣ	担当教員名	藤野 孝教
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	原稿の内容に応えられる豊かな表現力を身につける。 アクセント、鼻濁音等の、アナウンスメントの基本を押さえつつ、声のコントロール術を身につける。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 冒頭に声帯をコントロールするための筋肉を鍛える。発声トレーニングを行い、原稿読みに入る。 原稿は、ニュース、CM、古典など、実際の放送で使用されたもの、または、使用されるレベルのものを用意し、一人一人の個性が伸ばせるような土台作りをする。		
【実務経験】株式会社 昭和プロダクション所属。フリーアナウンサー ラジオパーソナリティー、TV、ラジオのナレーターをつとめる。 ヴォイストレーナーとしても活動し、演技やアナウンスなど、喋る仕事のための発声トレーニングを行う。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	自己紹介 前期で学んだことの再確認	
2	演習	基本の確認 発声トレーニング	
3	演習	疲れない声の出し方を学ぶ	
4	演習	声の幅を広げる 原稿の内容に応じたトーンを学ぶ	
5	演習	発声トレーニング ニュース原稿を読む	
6	演習	ニュース原稿で起訴のアナウンス力と、一般知識を確かめる	
7	演習	CM原稿、求められる世界観とそれに対応した表現力	
8	演習	CM原稿、録音を行い、自身の表現力の可能性を探る	
9	演習	ナレーション原稿、内容を効果的に伝える間の取り方を身につける	
10	演習	ニュース原稿、一つのセンテンスが長い文で息のコントロールをする。一般知識確認	
11	演習	ナレーション原稿、内容を正しく理解し伝えるためのアナウンス技術の使い方	
12	演習	落語のセリフを読み、リズム感とメロディーを身につける	
13	演習	テスト ナレーション	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	1日1～3分 授業で行う発声の反復トレーニング		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技100%	
教材	教科書	講師 藤野が用意するナレーション原稿	
	参考書	日本語アクセント辞典	
学生への メッセージ	基礎があつてこそ個性が輝きます 高い声、低い声、だみ声、色んな音声表現を身につけていきましょう		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	映像アクティング I	担当教員名	押谷 かおり
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標			
まずは台本を正しく理解し、正しい解釈ができることを基本とし、与えられた役の人物像を想像力を駆使して掴んでいくこと。そのうえで、その感情を、自身の肉体と感情を用いて、「気持ちに嘘偽りなく自然に表現できる」こと。さらには、その役として居続ける中で、その瞬間瞬間に関わる他者とコミュニケーションが自由にはかれることを最終目標とする			
授業の内容		映像演技(感情にそった身体表現)の実技と、感情解放。および、豊かな人格を育てる。	
演技は「豊かな人になるための効果的なメソッド」だと考え、広い視野、他者を想う心、自由な発想や想像力を高めるために、毎回「感情を動かさないと成立しないエチュード」を実践。映像撮りしたものをプレビューすることによって、自分の表現を確認しつつ、「こちらに心がなければ、技術だけでは見ている人は誰も感動しない」という、当たり前のことを繰り返し勉強する			
実務経験		大阪音楽大学ピアノ科卒業と同時に、演技の勉強経験のないままNHK朝ドラ「純ちゃんの応援歌」でヒロインの親友・ライバル役でデビュー。その後、ドラマだけでなく、映画、CM、レポーター、モデル、生番組の司会、ドキュメンタリーナレーション、ラジオドラマ、イベント司会、声優、舞台など、業界のあらゆるジャンルの仕事を、すべて現場で一から叩き込まれる。現在は舞台の演出、脚本、選曲等、制作や後輩の育成にも力を入れている	
回数	授業形態	内容	
1	演習	自己紹介・発声・テキストの初見。次回までの課題の提示	
2	演習	「エチュード喫茶店」台本を深く読み取る	
3	演習	どうすれば相手に正しく伝えることができるか、パターンの模索	
4	演習	想像力を広げて、役の人物になりきる	
5	演習	言葉の裏の真実を探す。感情の置き換えと自由な演技	
6	演習	「エチュード4人」読み合わせ～早速動いてみる	
7	演習	それぞれの役柄の特徴、役割を考える	
8	演習	本気で自分の感情を相手にぶつけてみる 「感情解放」ワークショップ	
9	演習	役を掘り下げる。役と自分自身の相違点について考える	
10	演習	心、肉体、言葉のすべてを使って他者とのコミュニケーションを成立させる	
11	演習	心で演じる。頭で考えるのではなく心で感じる	
12	演習	実技試験 好きなように自由に演じる	
13	演習	表現するにあたり、かかせないコミュニケーションとチームワークの確認	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	渡したテキストは必ず暗記。台本はしっかりと読み込んで自分の解釈を持って授業に臨むこと。読書(特に小説)と人間観察、自分磨きは学校ではなく日ごろ常に心掛ける		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技と感性60 人に好かれる人間性・人格・商品価値30 授業内評価10	
教材	教科書	エチュードテキスト(オリジナル)	
	参考書		
学生への メッセージ	演技の勉強は人間の勉強。形だけの芝居ではなく、心からあふれ出すものを一番大切に、恥ずかしながら、自分らしく自由に、楽しく授業時間を有意義に。自分の意見や考えがしっかり言える人になること。時には本気でケンカや言い合いができるほど、まずは少しでも早く仲良くなるのが、全体のレベルアップの近道なので、誰とでも仲良くなれる自分を目指して、目標を同じくする仲間と笑顔で切磋琢磨してほしい。質問や悩みなども皆の前で堂々と話せるような、またそれをちゃんと聞けるような空気を皆で作ってほしい		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	映像アクティングⅡ	担当教員名	押谷かおり
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	自分以外の人物の内面や感情を深角的確にとらえることのできる感性と想像力の構築 単に表現力を向上させることのみが目標ではなく、日常から自分や他者を深く観察し理解する力を高めること。自分の意志や感情を相手に自分の言葉で伝えられるコミュニケーション能力をつけること。個々の個性を大切にしつつ、周囲から愛される人間力を向上させることを「演じる」という疑似体験の中から体得すること。最終は「人に好かれる人、愛される人。幸せになる人づくり」		
授業の内容	必ず本気で感情を出さないと成立しない短いエチュードを用いての実技の反復 台本の理解(全体の把握。役作りのヒントを探るだけでなく、想像力を使って役柄に独自の解釈や幅を与える)。羞恥心を捨て、声、表情だけでなく肉体すべてを使って感情を表現する。その中で相手の言葉を聞く、表面上ではなく奥にある真実を読み取る洞察力を養う。現場で最も大切な「集中力」「自由な想像力」を高めることはもちろん、「発信力より、まずは受信力を高める(他者を想える力)こと」と、自然体で人と関われるコミュニケーション力を双方で引き出せること、人と繋がった時の喜びを感じることの重要性を学んでほしい		
【実務経験】大阪音楽大学ピアノ科を卒業と同時に、NHK朝ドラ「純ちゃんの応援歌」最終選考の結果、ヒロインの親友・ライバル役でドラマデビュー。演技経験ゼロでこの業界に入る。その後、ドラマ、映画を中心に舞台、声優、レポーター、ドキュメンタリーナレーション、ラジオドラマ、CM、TV番組司会、モデル、イベントメインMC等々、この業界のあらゆる職種を経験。そのすべては毎回現場でいちから叩き込まれ学んできたものである為、授業で伝えること＝現場で求められること。また、人とのつながりやバランス感覚、諦めないこと、好きであり続けることの先にチャンスがあることや、普段の自分(行儀、言葉使い、人間性)はどんなに隠しても出てしまうので、日常の自分を意識し、自分磨きをするように指導。表現者になる前に一人の人間として豊かに成長してほしいと考えて学生と向き合っています			
回数	授業形態	内容	
1	演習	台本の理解、正しい解釈	
2	演習	役柄を膨らませる想像力	
3	演習	他者とかがかわることではしか生まれぬ、自分を知る	
4	演習	チームワーク	
5	演習	受け取る力 受信の重要性	
6	演習	自身の感情解放	
7	演習	そのシーンにおける役割を考える 客観視する力	
8	演習	二つの集中力(役に入り込む集中力と俯瞰で全体を感じる集中力)	
9	演習	相手役やチーム内でのコミュニケーションでシーンを深める	
10	演習	感じたままに自然に動く肉体の確認	
11	演習	自由に演じる	
12	演習	実技試験	
13	演習	総評 即興	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	授業前には全体発声とストレッチ。次回授業までに、復習を台詞を入れる・役作りなど自分でできることを徹底し、相手に迷惑をかけないよう、成長スピードをクラス全体であげる。わからない言葉の読み方、意味は事前に調べておく		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100パーセントで成績評価とします	
教材	教科書	オリジナルの感情表現ができる短いエチュード台本使用	
	参考書		
学生への メッセージ	演じることは、まさに豊かな人間になるための勉強。人の気持ちを想像できる人、自分の思いや意見を怖がらずに口にできる人。想像力や洞察力を深めて、コミュニケーション力をつけることは、表現者にだけ求められるものではないです。まず、人として今より豊かであること。あなたは優しいですか？人が好きですか？きちんと言葉で伝えられますか？自分を押しこらしていませんか？自由に楽しいですか？心から笑ってますか？自分のことが好きですか？演技を通して、どんどん素敵なお人になりましょう。夢があるなら、苦しくてもあきらめないで、ちゃんとしっかり見えています。質問や相談があればどんどん話してください。同じことで悩んでいる人がいるかもしれない。授業ではほぼ厳しいことしか言いませんが(笑)踏ん張ってみてください。応援します		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	舞台プロジェクト(リコモーション)Ⅲ	担当教員名	中川 浩三	
時間数	90	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	後期の舞台公演に向けての基礎技術、グループ行動			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 月1回ペースでのグループ発表。(5～10分程度) あらかじめ決めたテーマに基づき学生自身で台本を作成。 発表を通し、発声・滑舌の基礎技術、観客への伝え方、また自分自身の客観的な視点などを向上させる。			
【実務経験】 1989～1994まで劇団そばごまち在籍(座長、生瀬勝久)。退団後もTV、舞台等幅広く活動。 近年の主な出演にNHK連続テレビ小説「わろてんか」「べっぴんさん」「あさが来た」「ごちそうさん」、映画「居眠り磐音」「超高速参勤交代リターンズ」「駆込み女と駆出し男」など。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業内容説明。肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。		
2	演習	肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。		
3	演習	肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。		
4	演習	肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。		
5	演習	発表①		
6	演習	肉錬、発声。発表②に向けての創作活動。		
7	演習	肉錬、発声。発表②に向けての創作活動。		
8	演習	肉錬、発声。発表②に向けての創作活動。		
9	演習	発表②		
10	演習	肉錬、発声。発表③に向けての創作活動。		
11	演習	肉錬、発声。発表③に向けての創作活動。		
12	演習	発表③。夏期課題説明。		
13	演習	夏期課題発表		
14	演習			
15	演習			
準備学習 時間外学習	発声・滑舌等の基礎的な練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書	特になし		
	参考書	特になし		
学生への メッセージ	遊びこそ真剣に遊べ。 エンターテインメントは遊びなんだ。 遊びを遊びで終わらすのは素人である。 遊びを真剣に遊べるバカこそ、真のエンターテイナー。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	舞台プロジェクト(リコモーション)Ⅳ	担当教員名	中川 浩三	
時間数	90	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	後期の舞台公演に向けての基礎技術、グループ行動			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 月1回ペースでのグループ発表。(5～10分程度) あらかじめ決めたテーマに基づき学生自身で台本を作成。 発表を通し、発声・滑舌の基礎技術、観客への伝え方、また自分自身の客観的な視点などを向上させる。			
【実務経験】 1989～1994まで劇団そばごまち在籍(座長、生瀬勝久)。退団後もTV、舞台等幅広く活動。 近年の主な出演にNHK連続テレビ小説「わろてんか」「べっぴんさん」「あさが来た」「ごちそうさん」、映画「居眠り磐音」「超高速参勤交代リターンズ」「駆込み女と駆出し男」など。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。		
2	演習	肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。		
3	演習	発表①		
4	演習	公演出演者オーディション実施・決定		
5	演習	稽古開始。台本(一部)使用。		
6	演習	稽古		
7	演習	稽古。上演台本完成予定。キャスト決定。		
8	演習	稽古		
9	演習	稽古		
10	演習	稽古		
11	演習	稽古		
12	演習	稽古。以降集中稽古。		
13	演習	卒業・進級公演の総括。		
14	演習			
15	演習			
準備学習 時間外学習	発声・滑舌等の基礎的な練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書	特になし		
	参考書	特になし		
学生への メッセージ	遊びこそ真剣に遊べ。 エンターテインメントは遊びなんだ。 遊びを遊びで終わらすのは素人である。 遊びを真剣に遊べるバカこそ、真のエンターテイナー。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	舞台プロジェクト(吉本)Ⅱ	担当教員名	大工 富明	
時間数	120	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	801.2教室
授業の到達目標	学園祭の新喜劇公演を通じて笑いを取りながら、演じることが出来る。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 吉本新喜劇を演じるに関してスキルを身につけられるようなエチュードをさせていきスキルアップを目指す授業をしていきます			
【実務経験】吉本新喜劇の作・演出を30年以上				
回数	授業形態	内容		
1	演習	新喜劇のエチュード基礎編		
2	演習	新喜劇のエチュード基礎編2		
3	演習	笑いの作り方		
4	演習	滑舌のエチュード。ルールに沿って笑いを作るエチュード		
5	演習	学園祭新喜劇稽古		
6	演習	学園祭新喜劇稽古2		
7	演習	学園祭新喜劇稽古3		
8	演習	学園祭反省会		
9	演習	新喜劇稽古1		
10	演習	新喜劇稽古2		
11	演習	新喜劇稽古3		
12	演習	新喜劇稽古4		
13	演習	発表		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業内容をよく理解し翌週までに練習をしておく			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1.実技試験を100%		
教材	教科書	オリジナルのミニ台本		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	笑いを取りながら演じる喜びを知ってほしい			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション	
授業名	ヴォイストレーニングⅢ	担当教員名	吉村元子
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標			
1年次に学んだVTの内容の発展、拡大			
授業の内容		※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する	
ヴォーカリストとしての体作りと発声法を身につけ、プロのヴォーカリストになるための歌唱トレーニング方法を習得する。 実務経験者：1988年大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業、教員免許取得。在学中より、バックコーラスとして宝塚歌劇団やTV、CMに出演。2000年よりヴォイストレーナーとして指導にあたり、数々のアーティストを輩出している。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	1年次のVTで学んだことの復習	
2	演習	声量アップの為のトレーニング	
3	演習	低音域の安定を目指すトレーニング	
4	演習	中音域の安定を目指すトレーニング	
5	演習	高音域の安定と声域拡大の為のトレーニング	
6	演習	歌唱表現の為のファルセット	
7	演習	共鳴①(より充実した響きを習得する)	
8	演習	共鳴②(マイクを使用し響きの確認)	
9	演習	コーラスワーク①(読譜力をつける)	
10	演習	コーラスワーク②(正しい音程、正しいリズムで表現する)	
11	演習	コーラスワーク③(ハーモニーに慣れる)	
12	演習	コーラスワーク 発表	
13	演習	まとめ	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	トレーニング前のからだ作り(いつでも歌えるように体をほぐしておく)。 トレーニング内容については反復練習。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技試験100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	毎日の積み重ねが力になります。基本に忠実にトレーニングしながら、自分の声の魅力を存分に知り、歌に活かしましょう。		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション		
授業名	ヴォイストレーニングⅣ	担当教員名	吉村元子	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
1年次に学んだVTの内容の発展、拡大				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
ヴォーカリストとしての体作りと発声法を身につけ、プロのヴォーカリストになるための歌唱トレーニング方法を習得する。				
実務経験者：1988年大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業、教員免許取得。在学中より、バックコーラスとして宝塚歌劇団やTV、CMに出演。2000年よりヴォイストレーナーとして指導にあたり、数々のアーティストを輩出している。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	これまでの復習をしながら、トレーニングの流れを理解し実践する。		
2	演習	声の支えと体の開放の再確認(より自然な声、自分のベストな声を知る)		
3	演習	声区の移行(よりスムーズに広い声区を移行できるようになる)		
4	演習	跳躍音程(跳躍進行時の声を安定させる)		
5	演習	リズムトレーニング(複雑なリズムも理解し、対応できるようになる)		
6	演習	トレーナーとしてのスキルを身につける(キーボードを弾きながら発声練習ができるようになる)		
7	演習	トレーナーとしてのスキルを身につける(他の人の発声について考察し、アドバイスができるようになる)		
8	演習	コーラスワーク①(読譜力を強化する)		
9	演習	コーラスワーク②(正しいリズム、音程で表現することができる)		
10	演習	コーラスワーク③(ハーモニーを強化し、より美しいハーモニーで歌えるようになる)		
11	演習	コーラスワーク④(音と言葉の関係を考え、表現力を強化する)		
12	演習	コーラスワーク成果発表		
13	演習	これまでのトレーニングを振り返り、自分に必要なトレーニングスケジュールを改めて組み立てる。		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	トレーニング前のからだ作り(いつでも歌えるように体をほぐしておく)。 トレーニング内容については反復練習。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	毎日の積み重ねが力になります。基本に忠実にトレーニングしながら、自分の声の魅力を存分に知り、歌に活かしましょう。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション	
授業名	ゴスペルアンサンブルⅢ	担当教員名	池末 信
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標			
「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じれること。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。			
【実務経験】アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。			
日程	授業形態	内容	
1	演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	
2	演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	
3	演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	
4	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	
5	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	
6	演習	3曲新曲、選択理論ワーク	
7	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	
8	演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	
9	演習	プレイフルワーク、楽曲復習	
10	演習	楽曲復習、新曲レクチャー	
11	演習	楽曲復習、新曲レクチャー	
12	演習	楽曲復習、ケイティワーク	
13	演習	新曲レクチャー	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	①週目は準備はなく、②週目以降は楽曲復習・学びの振り返り		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験: 100%	
教科書	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	心技体において確実な成長を体感し、自分自身を自由にさせ、学びを信じ、「ゴスペル学びの先に本物になれる」		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション	
授業名	ゴスペルアンサンブルⅣ	担当教員名	池末 信
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。それらをゴスペルアンサンブルメンバー全員で達成できていること。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。			
【実務経験】アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。			
日程	授業形態	内容	
1	演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	
2	演習	楽曲復習	
3	演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	
4	演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	
5	演習	楽曲復習、動き復習	
6	演習	ケイティワーク、2曲新曲	
7	演習	楽曲復習、動き復習	
8	演習	楽曲復習	
9	演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	
10	演習	発表会リハーサル演習	
11	演習	発表会リハーサル演習	
12	演習	発表会リハーサル演習	
13	演習	総復習	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	①週目は準備はなく、②週目以降は楽曲復習・学びの振り返り		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験: 100%	
教科書 参考書	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	心技体において確実な成長を体感し、自分自身を自由にさせ、学びを信じ、「ゴスペル学びの先に本物になれる		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション		
授業名	ソルフェージュ I	担当教員名	高岡利江	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	806
授業の到達目標				
リズムトレーニングで、譜面を解読出来る基礎の力を身につける。 ドリルや、移動ドのソルフェージュで正確な音を出せるように身につける。 将来プロとして活躍するうえでとても重要な授業なので意味付けをしていく。				
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
<ul style="list-style-type: none"> ・音を正確に出していくトレーニング。ドリル。 ・譜面を読むために必要なリズムトレーニング ・移動ドソルフェ ・メロディー読み 				
【実務経験】THE SOULMATICのメンバーとして、学校公演やレコーディング、イベントなど幅広く活躍しており、留学経験を活かし2017年にはニューヨークにて行われたグラミー賞三度も受賞しているDorinda Clark Coleもゲスト参加した国際ゴスペルフェスティバルにてコンサートツアーに参加し成功に大きく貢献している。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	小テスト、自己紹介、授業説明		
2	演習	Chapter1		
3	演習	Chapter1,2		
4	演習	Chapter2		
5	演習	Chapter3		
6	演習	Chapter3,4		
7	演習	Chapter4		
8	演習	Chapter4,5		
9	演習	復習		
10	演習	復習		
11	演習	テスト		
12	演習	Chapter5		
13	演習	Chapter6		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ドリル1日3回、メロディー、リズム復習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1)実技試験 100%		
教材	教科書			
	参考書	パークリー音楽大学の資料を使用。		
学生への メッセージ	簡単なことを100点にしてもらう授業です。 続けられ続けるだけ良いことしかありません！			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション		
授業名	ソルフェージュⅡ	担当教員名	高岡利江	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	806
授業の到達目標				
リズムトレーニングで、譜面を解読出来る基礎の力を身につける。 ドリルや、移動ドのソルフェージュで正確な音を出せるように身につける。 将来プロとして活躍するうえでとても重要な授業なので意味付けをしていく。				
授業の内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・音を正確に出していくトレーニング。ドリル。 ・譜面を読むために必要なリズムトレーニング ・移動ドソルフェ ・メロディー読み(パークリー音楽大学での資料を使用し、毎週4つの内容を繰り返し、2、3週間に1回レベル上げていく。) 				
【実務経験】THE SOULMATICのメンバーとして、学校公演やレコーディング、イベントなど幅広く活躍しており、留学経験を活かし2017年にはニューヨークにて行われたグラミー賞三度も受賞しているDorinda Clark Coleもゲスト参加した国際ゴスペルフェスティバルにてコンサートツアーに参加し成功に大きく貢献している。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	Chapter 5.6		
2	演習	Chapter5.6,譜面配って解読		
3	演習	Chapter6,譜面配って解読		
4	演習	Chapter6,,譜面配って解読		
5	演習	Chapter6,譜面読み		
6	演習	Chapter7,譜面読み		
7	演習	Chapter7,譜面読み		
8	演習	Chapter7,譜面読み		
9	演習	Chapter8		
10	演習	Chapter8		
11	演習	復習		
12	演習	テスト		
13	演習	見直し、復習		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習		ドリル1日3回、メロディー、リズム復習		
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1)実技試験 100%	
教材	教科書			
	参考書	パークリー音楽大学の資料を使用。		
学生へのメッセージ		簡単なことを100点にしてもらおう授業です。 続ければ続けるだけ良いことしかありません！		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングプロジェクト		
授業名	アクティングプロジェクトⅢ	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	舞台演劇の本番に向けて、エチュード、スクリプトワークを通じて演出、構成を学び、チームでの舞台演劇制作が出来るようになる。			
授業の内容	スクリプトアナライズ、インプロビゼーションなどで学んだ演技の基礎から発展させ自分自身の演出や構成での舞台制作を行う。 本番制作までの過程を通じて、顧客満足の考え方、チームマネジメント、セルフマネジメントを学ぶ。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	エチュードづくり		
2	演習	エチュードづくり		
3	演習	エチュードづくり		
4	演習	エチュードづくり		
5	演習	エチュードづくり		
6	演習	本番		
7	演習	エチュードづくり		
8	演習	エチュードづくり		
9	演習	エチュードづくり		
10	演習	エチュードづくり		
11	演習	エチュードづくり		
12	演習	エチュードづくり		
13	演習	本番		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技評価:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングプロジェクト		
授業名	アクティングプロジェクトIV	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	<p>舞台演劇の本番に向けて、エチュード、スクリプトワークを通じて演出、構成を学び、チームでの舞台演劇制作が出来るようになる。</p>			
授業の内容	<p>スクリプトアナライズ、インプロビゼーションなどで学んだ演技の基礎から発展させ自分自身の演出や構成での舞台制作を行う。 本番制作までの過程を通じて、顧客満足の考え方、チームマネジメント、セルフマネジメントを学ぶ。</p>			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	エチュードづくり		
2	演習	エチュードづくり		
3	演習	エチュードづくり		
4	演習	エチュードづくり		
5	演習	エチュードづくり		
6	演習	本番		
7	演習	エチュードづくり		
8	演習	エチュードづくり		
9	演習	エチュードづくり		
10	演習	エチュードづくり		
11	演習	エチュードづくり		
12	演習	エチュードづくり		
13	演習	本番		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			ヴォーカルプロジェクト	
授業名	ヴォーカルプロジェクトⅢ		担当教員名	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
1: ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する 2: 学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力の概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3: それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4: 外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5: 全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
実際の現場経験や業務内容を基に、現場で必要になるリアルなノウハウを伝えていきます。現場で必要になる専門的な音楽知識、技術を具体的に教材に盛り込むために当講義用にアレンジ(編曲)されたボーカル+コーラスの譜面を使用し、制作過程も含めて理解できるように促します。それぞれに役回りを持たせ協力しながら練習や準備を行う中で、各学生の特徴を活かし全員が輝けるパフォーマンスを目指します。発表時に全員が達成感を得られるよう、実際の現場における本番までの過程を踏襲しながら学んでいきます。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ショークワイア概観 履修学生のレベルチェック		
2	演習	課題曲の配布 パート分け リーダー決めと練習方針についてディスカッション		
3	演習	発声指導 パートリーダー決め パートミーティング 課題曲音取り練習		
4	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
5	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
6	演習	学園祭楽曲練習 学園祭詳細ミーティング		
7	演習	学園祭 本番に向けてのリハーサル		
8	演習	学園祭反省会+今後の練習計画についてディスカッション 課題曲の配布		
9	演習	発声練習 課題曲音取り練習 アンサンブル練習		
10	演習	練習状況についてミーティング 発声練習 課題曲アンサンブル練習		
11	演習	発声練習 課題曲アンサンブル練習 ステージングの検討		
12	演習	発声練習 課題曲振り渡し→アンサンブル練習		
13	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	自主練習の計画と実践、参加状況管理 リーダー主催ミーティングと講師への報告、ライブラリアン(楽譜音源管理) 衣装管理、次回授業の準備物周知連絡ほか			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%		
教材	教科書	新規アレンジショークワイア用楽譜と仮録カラオケ 市販ショークワイア用楽譜と専用カラオケのセット		
	参考書	[子供のためのソルフェージュ](音楽之友社)全巻 [全訳 コールユーブンゲン](全音楽譜出版社)1~3巻 ※いずれも抜粋使用		
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			ヴォーカルプロジェクト	
授業名	ヴォーカルプロジェクトⅣ		担当教員名	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
1: ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する 2: 学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力の概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3: それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4: 外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5: 全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
実際の現場経験や業務内容を基に、現場で必要になるリアルなノウハウを伝えていきます。現場で必要になる専門的な音楽知識、技術を具体的に教材に盛り込むために当講義用にアレンジ(編曲)されたボーカル+コーラスの譜面を使用し、制作過程も含めて理解できるように促します。それぞれに役回りを持たせ協力しながら練習や準備を行う中で、各学生の特徴を活かし全員が輝けるパフォーマンスを目指します。発表時に全員が達成感を得られるよう、実際の現場における本番までの過程を踏襲しながら学んでいきます。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ショークワイア概観 履修学生のレベルチェック		
2	演習	課題曲の配布 パート分け リーダー決めと練習方針についてディスカッション		
3	演習	発声指導 パートリーダー決め パートミーティング 課題曲音取り練習		
4	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
5	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
6	演習	学園祭楽曲練習 学園祭詳細ミーティング		
7	演習	学園祭 本番に向けてのリハーサル		
8	演習	学園祭反省会+今後の練習計画についてディスカッション 課題曲の配布		
9	演習	発声練習 課題曲音取り練習 アンサンブル練習		
10	演習	練習状況についてミーティング 発声練習 課題曲アンサンブル練習		
11	演習	発声練習 課題曲アンサンブル練習 ステージングの検討		
12	演習	発声練習 課題曲振り渡し→アンサンブル練習		
13	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	自主練習の計画と実践、参加状況管理 リーダー主催ミーティングと講師への報告、ライブラリアン(楽譜音源管理) 衣装管理、次回授業の準備物周知連絡ほか			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%		
教材	教科書	新規アレンジショークワイア用楽譜と仮録カラオケ 市販ショークワイア用楽譜と専用カラオケのセット		
	参考書	[子供のためのソルフェージュ](音楽之友社)全巻 [コールユーブンゲン](全音楽譜出版社)1~3巻 ※いずれも抜粋使用		[全訳]
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスプロジェクト		
授業名	ダンスプロジェクトⅢ		担当教員名	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
ダンスイベントに向けて、ダンス作品制作が出来るようになる。				
授業の内容				
振付、構成、演出、音響、照明などの基礎知識をまなび、本番に向けての制作全般を学ぶ。 本番後フィードバックを行い、次の作品制作へと繋げていく。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	音響機材入門		
2	演習	音響機材入門		
3	演習	振付制作		
4	演習	振付制作		
5	演習	振付制作		
6	演習	振付制作		
7	演習	本番及び試験		
8	演習	音響機材を生かした演出		
9	演習	音響機材を生かした演出		
10	演習	振付制作		
11	演習	振付制作		
12	演習	振付制作		
13	演習	本番及び試験		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生へのメッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスプロジェクト		
授業名	ダンスプロジェクトⅣ		担当教員名	
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
ダンスイベントに向けて、ダンス作品制作が出来るようになる。				
授業の内容				
振付、構成、演出、音響、照明などの基礎知識をまなび、本番に向けての制作全般を学ぶ。本番後フィードバックを行い、次の作品制作へと繋げていく。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	楽曲決め		
2	演習	振付制作		
3	演習	振付構成制作		
4	演習	衣裳制作		
5	演習	照明案制作		
6	演習	最終リハーサル		
7	演習	本番及び試験		
8	演習	楽曲決め		
9	演習	振付制作		
10	演習	振付構成制作		
11	演習	衣裳制作		
12	演習	照明案制作		
13	演習	本番及び試験		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生へのメッセージ				